

3. 第3号議案 2022年度の事業計画

【2021・2022年度 2年間の指針】

コロナ禍の新しい生活様式が確立されつつあり、そんな社会状況の中で、私たちが設立以来大切にしてきた活動の基盤「集う・あそぶ・観る・つながる」をどのように実践していったらいいか、多くの知恵を集めたい。リアルな居場所だけではなく、時にはリモートやオンラインなどによる子育て支援も取り入れていく必要がある。節目となる30周年を経て、新しい視点や情報発信の仕方が不可欠であるが、担い手にも若い力を増やし他団体にも学びながら、「五感をゆさぶるほんものの体験」の場をつくり続けられるよう次なる一歩につなげたい。

【2022年度の方針】

- 1 市制施行30周年記念事業を終えた今年度は気持ちも新たに、小さな人形劇など、温めてきた作品に着実に取り組み、芸術と子どもが出会う場をつくっていく。
- 2 With コロナの時代に入ったが、臨機応変に対応して、「ほんものの体験」や「人と人とのつながり」の大切さを発信し、子どもだけでなく子育て世代の大人にも伝えていく。
- 3 表現あそびや赤ちゃんとお母さんのためのコンサートなど、地域の乳幼児親子の世帯に向けてもっとアピールしていく。企画側にも乳幼児のいるスタッフを取り込んで、魅力ある事業として定着させていく。
- 4 昨年なかなか実現できなかった活動地でのあそび・自然体験に力を入れ、会員の交流の機会とすると共に、会員交流会も参加が増えるような工夫をしていく。
- 5 Zoomなどを活用し、オンラインで活動を届けられないか今後も研究を進めていく。
- 6 NPOとしての会のあり方、会員制など、いまの時代に合わせた形を引き続き模索していく。

【2022年度の事業計画】

I 子育て支援事業

- ① 「子どもるーぷまつり」 6/26(日) 根形公民館
- ② ままんべいび ～赤ちゃんとお母さんのための体験と交流のひろば～
「赤ちゃんとお母さんのためのコンサート」 9/29(木) 2023/3/2(木) 予定
- ③ るーぷのおやこ文庫「わっくぶっく」 毎月2回 水曜日 事務所
- ④ 乳幼児とお母さんのあそびの場「ぴっぴ」 毎月1回 主に第2木曜日 登録制

II 子どもと大人のための自然体験・遊び体験・芸術体験事業

- ① 何でも体験隊
 - ・畑や活動地を中心とした自然体験(タケノコ掘り・芋掘りなど)
 - ・会員の企画による遊び体験(はたおり体験・デイキャンプなど)
- ② 表現あそび(NPO法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン) 12/3(土) 根形公民館
- ③ 芸術体験事業
人形劇団ひぼぼたあむ 8/28(日) 市民会館中ホール

III 子育てと文化に関する調査、情報収集・発信事業

- ① 機関紙「どりーむBOX」の発行(隔月1回)
- ② 地域の学校および公民館等の芸術鑑賞会への情報提供(随時)
- ③ ホームページ・フェイスブック・ツイッター・インスタの随時更新
- ④ 子ども、親子の居場所づくりに関する調査・研究

IV 行政・諸団体とのネットワーク事業

- ① 市民会館まつり実行委員
- ② 郷土博物館ミュージアムフェスティバル実行委員
- ③ 「子どもるーぷまつり」6/26(日) …袖ヶ浦市と共催
その他の関わりとして・・・
 - * 代宿児童館主催「ほわりん」に共催としてスタッフを派遣
 - * 袖ヶ浦市子ども子育て支援会議委員 * 袖ヶ浦市総合計画審議会委員 * 袖ヶ浦市図書館協議会委員
 - * 協働のまちづくり推進委員会委員 * 袖ヶ浦市地域総合支援協議会メンバー

☆ 会員交流会(るーぷのおしゃべり会) 隔月1回開催 会員同士の自由な交流の場

